



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

～広げよう有功の輪～

有功ひろしま

有功会会報

13号

平成27年度 冬号

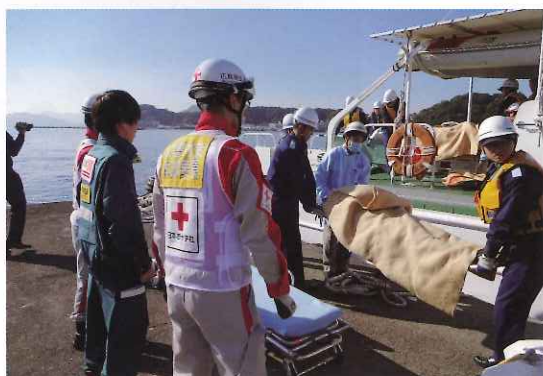
平成27年度旅客船事故対応訓練に参加

平成27年12月8日、宇品波止場公園にて実施された「旅客船事故対応訓練」に日赤広島県支部及び広島県赤十字血液センターの災害対策本部要員、広島赤十字・原爆病院救護班が参加しました。

本訓練は、平成25年2月に締結した海上保安部（広島・呉・尾道）との協定に基づくものであり、航行中のフェリーで発生した火災による負傷者の救護を目的に行われました。

海上災害という特殊な状況の中、海上保安部、警察、消防、DMAT、日赤と複数の機関が連携を強化し、相互理解と意識の高揚を図ることができました。

日本赤十字社は、あらゆる災害現場で頼りになる存在を目指します。



湯崎英彦広島県知事が日本赤十字社広島県支部長に就任

日本赤十字社広島県支部長藤田雄山氏が、平成27年12月18日に66歳で永眠されました。謹んでご遺徳をしのび、ご冥福をお祈り申し上げます。

これに伴い、平成28年2月10日に開催された日本赤十字社広島県支部評議員会にて、支部長に湯崎英彦広島県知事が選出されました。



湯崎英彦支部長

平成27年度 日赤紺綬・有功会会長協議会総会 開催

平成27年度総会が、10月15日と16日の両日、栃木県宇都宮市で開催され、広島県からは、当会角廣勲会長と日赤広島県支部より沖本洋文事務局次長が出席しました。

総会は、平成26年度収支決算報告、平成27年度会計収支中間報告について協議されました。また、各ブロック代表の活動報告として、中四国を代表し徳島県赤十字有功会が発表され、積極的な情報交換が行われました。

総会後は、日光東照宮特別顧問 高藤晴俊様による「世界文化遺産・東照宮の謎と真実」と題した講演会が行われました。



▲ 日赤紺綬・有功会会長協議会総会の模様

◆会員動向

(平成27年12月末日現在)

【個人】 72名

【法人】 235社

◆平成27年度 新規会員紹介

ご入会いただき、ありがとうございました。(順不同・敬称略)

個人(2名)

会員名	市区郡
豊原 正之	広島市安芸区
矢田 記一	福山市

法人(3社)

会員名	市区郡
エイフク株式会社	広島市中区
丸榮株式会社	広島市中区
株式会社福山自動車用品商会	福山市

いのちを守る知識を身に付けよう! 小学校で防災学習

平成27年11月25日、広島市立長東西小学校で青少年赤十字防災教育プログラムを活用した防災模擬授業を行いました。

もし今災害が起こったらどうするか、何を準備すれば良いのか…、友達や家族と考えてもらいました。

授業後は、児童たちから様々な質問が飛び交い、児童たちの「防災」に対する意識の高さを感じました。



▲ 避難所に持っていくものをみんなで協議

「Enjoy Honda 2015 広島市中小企業会館」に参加しました!!

平成27年11月14日、15日の2日間、本田技研工業株式会社主催の「Enjoy Honda 2015 広島市中小企業会館」内において、「救急法ミニ講習会・なりきり救護員撮影会」を展開しました。

来場いただいた方に、赤十字救護班要員に変身して「けんけつちゃん」との記念撮影、AEDの取り扱い方、心肺蘇生法や幼児安全法を体験して頂きました。



平成27年度中国・四国各県支部 合同災害救護訓練



▲【被災地入り】救護班到着報告



▲【災害対策本部】通信・情報収集

平成27年11月7日・8日の2日間にわたり、高知県高知市の高須浄化センターを会場として、「南海トラフ地震」の発生を想定した合同災害救護訓練を開催しました。

広島県からは、日赤広島県支部の災害対策本部要員、庄原赤十字病院の救護班及び防災ボランティアが参加し、被災地への参集、救護所の設営、多数傷病者の手当て・搬送など、より実践的な訓練を実施しました。今後も、赤十字のネットワークを最大限に活用し、大規模災害に備えます。



▲【救護所】重傷者の応急手当て



▲【自衛隊との連携】患者搬送

あなたの「救いたい」思いを赤十字に

近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「個人の遺産を社会のために役立ててほしい」という尊いお申し出が増えています。

ご寄付をされる方は、ご自身や個人の意思を社会のために役立てることを目的に、安心できる方法で信用できる団体に寄付をしたいと思われています。

日本赤十字社は、このような尊いご意思に応えるために遺言によるご寄付（遺贈）、相続財産のご寄付を承っておりますので、ご関心をお持ちの方は、日本赤十字社広島県支部までご相談ください。

故人のご意思や
あなたの思いがかたちになります

日本赤十字社広島県支部 組織振興課
広島市中区千田町2-5-64 082-545-5011

赤十字サポーターの募集について

日本赤十字社広島県支部では、企業のノウハウと赤十字のノウハウを結びつけることにより、効果的な社会貢献活動を展開することを目的とし、赤十字サポーター事業を推進しております。

企業・団体様に当支部が実施する、災害救護活動等の事業を活動資金や企業の事業活動に関連した支援協力によりサポートしていただけるよう、参加・登録をお願いいたします。

なお、赤十字サポーターにご登録いただける法人・団体様には認定証をお渡しいたします。

1.ご支援いただきたい事業・活動例について

- (1) 活動資金を継続的に支援する
- (2) 寄付金付自動販売機・募金箱の設置
- (3) 広報機会・媒体の提供（赤十字のPR）など

2.赤十字サポーターに認定された法人・団体様に独自のノウハウを還元します

- (1) 救急法などの講習提供
心肺蘇生（胸骨圧迫、人工呼吸の方法）やAEDの使い方、いざという時の手当などを学ぶ講習を開催します。
- (2) 防災や減災などの知識・技術提供
災害に備えた防災知識を始め、災害が起きた時に役立つ技術などが学べます。



3.赤十字支援マークの仕様

赤十字活動を支援していることを証明する「赤十字支援マーク」を使用し、社会貢献活動を広くPRすることができます。

■赤十字支援マーク

文字パターン(2種類)×デザインパターン(4種類)の組み合わせで選ぶことができます。



日本赤十字社

売上げの一部は日本赤十字社の活動資金として寄付されます。



日本赤十字社

売上げの一部は日本赤十字社の活動資金として寄付されます。

○赤十字サポーター第1号として、株式会社広島銀行様を認定させていただきました。

赤十字サポーター認定証贈呈の様子が平成27年11月11日付中国新聞に掲載されました。

広島銀行 角廣会長 コメント

昨年の豪雨災害などで、日赤の活動の大切さを目の当たりにしました。広く他の県内企業にも支援を呼びかけたいです。



「赤十字サポーター認定証」を間に、広島銀行 角廣会長(左)と日赤 桂木事務局長(右)

○平成27年度赤十字サポーターご登録企業様紹介(平成28年1月31日現在)

赤十字サポーターにご登録いただきありがとうございました。(順不同 敬称略)

●株式会社広島銀行 ●株式会社もみじ銀行 ●広島ガス株式会社 ●広島電鉄株式会社

お問い合わせ



日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society

WEB 日赤 広島支部 で 検索

●平成28年2月発行 ●発行者：広島県赤十字有功会
●発行所：広島県広島市中区千田町2-5-64
730-0052 日本赤十字社広島県支部内
電話(082)241-8811
<http://www.hiroshima.jrc.or.jp/merit>